

2023 年度:こども園自己評価の報告書

東丘こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	・「人と豊かにかかわりあい、主体的に遊び、生活する力を育てる」をテーマの 2 年目として、幼児期までに育ってほしい 10 の姿なども意識しながら、環境に配慮して活動していく中で見えてきた子どもの姿、友達との関りを写真を使って、保育内容とともに発信していった。 ・子どもが主体となり、友達と協力し合って生活や遊びをすすめる力を育むために、具体的な姿からアドバイザーの助言も得ながら、一人一人に応じた声掛けや環境構成を進めていった。
健康支援	・薬剤師と共に行う手洗い指導やトイレの使い方、歯磨きの仕方、目のはなし、プライベートゾーンについてなど、保健指導を年齢に合わせて行う。ほけんだよりでは、身体計測や与薬、けがの処置時の子どもの成長の姿も発信していった。 ・コロナが 5 類になり、マスク着用はなくなったが、下痢嘔吐、結膜炎、インフルエンザ等、季節ごとの感染症が流行し、消毒をはじめ感染を防ぐ手立てを随時行った。
安全指導・危機管理	・避難訓練では、災害時の想定を様々な角度から捉え、行う。また、2 次避難として小学校へも避難を行う機会を持った。それぞれの訓練については、係で課題を出し合い、次の訓練へと繋げる。また、消防署員に総合訓練として通報、避難方法などを見てもらい講評を受ける。 ・安全点検、日々の生活で不具合が見つかった時には、すぐに修理依頼し、対策をする。 ・5 歳児対象に警察官による交通安全教室を開催し、交通ルールの指導を受ける。
食育の推進	・菜園活動でのクッキング、給食食材（たまねぎ、トウモロコシ、えんどう豆等）の皮むきなどを経験し、野菜の生長や調理の仕方を知る。 ・季節の布製野菜を掲示したり、5 歳児は、栄養列車というシアターを用いて、自分たちの体を作る栄養素の話を聞いたりしたことで、より食の関心が高まった。
子育て支援（在園児および地域）	・日々の保育を配信アプリを使って、より分かりやすく伝えることを心がけ、特に乳児クラスは、文字と写真を使うことで、活動が伝わりやすくなった。年 2 回の保育参観も行ったことで保護者との会話もでき相談等へも繋がっている。幼児は行事を通して直接見ていただくことで個々の育ちと共に集団の育ちについても一定の理解を得ている。 ・「おやつ講座」「離乳食講座」「0・1・2 歳児の育ちの講座」では、やり取りすることで、保護者同士がつながる機会になった。園見学と共に入園についての詳細をほっぺの子育てコーディネーターが丁寧に個別に対応してもらった。
インクルーシブ教育保育	・保護者とともに年度当初に設定した支援計画を基に、担任間で一人ひとりの課題やクラスの課題を出し、集団の中で認め、育ちあえる教育保育を進めていった。また、支援児のほか、丁寧な関わりが必

	要であると思われる子どもについては保護者とも共有し、児童発達支援センターの巡回や別途、連携を取り、相談や指導を受け保育に活かす。
職員の資質の向上	・保護者支援にあたり、職員が自分自身の価値観を見直しアドバイザー研修でケースワークの原則を学ぶことで、よりよい支援に繋げていく。 ・教育保育内容をよりわかりやすい伝え方の一つとして、コドモンで写真添付し発信をしたり、10の姿については一枚の写真から職員で討議したりすることでより認識を持つことができた。
幼保こ小中の連携・接続	・幼保こ小連絡会では、架け橋期について各校園所と情報交換を行い、就学先の各小学校とは園訪問をしていただき引継ぎを細やかに行った。 ・八中校区地域教育協議会主催の千里ふれあいフェスタへ参加し、舞台発表を行う。地域の方が連携して幼児期から小・中と子どもたちの健全育成に携わっていることを園の保護者へもお知らせする機会となった。
評議員会	・平和のつどい、生活発表会の予行、つくって遊ぼうの異年齢交流をご覧いただく。今年度より新しく放課後こどもクラブの指導員の方にメンバーとなっただき、架け橋期でもある5歳児の活動も見ただきご意見を頂戴した。また、次年度に建替え工事が開始されるにあたり地域でご協力もいただくことをお伝えする。
その他	・環境部による出前講座でごみの学習を行うことで、環境への興味、関心を持つ入り口となった。 ・千里竹の会より、笹飾りの笹と4歳児の竹太鼓の竹を頂戴し、教育保育に活かす。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
教育保育環境の工夫	・仮園舎での保育環境については、課題が多くなることが予想される。特に園庭のないことで、個々の体の動きや集団での遊びなどには、ねらい、計画性をもち、アドバイザーにもヒントを得ながら行いたい。
職員の資質向上	・研修は与えられるだけでなく、何を学びたいのかしっかりと意識をもち、テーマを考え、それぞれのクラスのこども像などしっかりと保護者へも伝え、それが伝わる発信を行っていく。

令和6年（2024年）3月31日

豊中市立東丘こども園

園長 豊留千加子